

ウガンダで黄熱が発生

2010年12月30日、2011年1月3日 ProMED 情報



(1) Ultimate Media Consult[UMC],Uganda

北ウガンダ地域で黄熱患者の発生が続いており、あらたに死亡患者1名と入院患者4名が確認されました。

保健省は、11月から北ウガンダ地域の10地区で奇妙な病気の発生を報告していましたが、黄熱と判明し警告を発しました。最新の報告では死亡患者数は49名で、191名が入院中です。

保健当局責任者によると、あらたに報告された死亡患者1名はKaabong地区で発生し、4名の入院患者のうち2名がKaabong地区、他の2名がAgago地区から発生したということです。

同省は、黄熱が近隣地区にまん延する前に、できるだけ早く予防接種を開始できるように全力を尽くしています。また、1月4日には開発支援者と、予防接種活動に対する財政援助を含め協議を行うことにしています。

[ProMED 調整者]黄熱予防接種計画を緊急に開始する必要があります。1日遅れると新しい地域にさらに多くの患者を発生させる危険性があります。

ウガンダでは、約40年間、黄熱患者はほとんどなかったことから、遠隔地では特に、進行中の予防接種による効果的な集団免疫を維持することは、困難なことです。

(2) AllAfrica,The Monitor report(Uganda)

1月3日の報告によると、同国政府の約束とは違って、黄熱ワクチンの到着にはさらに2週間かかる可能性があります。そうなると、集団接種がさらに遅れることとなります。なお、死亡患者数は48名で患者数は、190名ということです。発生地域は、Abim、Agago、Lawo、Pader、Kitgum、Gulu、Arua、Kabong、Kotido、Lira です。